

いい景色だからであらうか。と思うのは、日本人だけだろうか。

日本には、世界平均の約2倍の雨が降り、67%が山や森林です。たくさん水が、急流をつくって海に流れ込む土地に、日本人は、2000年以上に渡って、人と生物と自然の緻密で美しい、水田という秩序をつくってきました。

水田は、琵琶湖の約40倍ある、多様な生物が住む湿地帯であり、地下水の約20%をかん養していると言われ、その貯水量は52億5000万㎡。また、平地のすみずみまで張り巡らされた水路は、地球を10周するほどの長さがあり、水を長く地上に留まらせます。

水田のある景色は、ご飯が食べられる喜びの予感であり、地域の円満や、自然への敬意や、平和の象徴であり、多くの人々の助け合いの成果なのです。

JAグループは、水の管理、育苗など、稲作農家をサポートするとともに、地域のコミュニティや、伝統文化の維持に貢献していきます。

水田という悠久の美徳を、後世につないでいくために。



大地がくれる絆を、もっと。 JAグループ

